

第84回 簿記実務検定第 1 級試験問題

原価計算

(制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	売 掛 金	製 品	A 組 製 品
B 組 製 品	作 業 く ず	消 費 材 料	健康保険料預り金
売 上	雑 益	売 上 原 価	健康 保 險 料
減 価 償 却 費	製 造	A 組 製 造	B 組 製 造
第 / 工 程 製 造	第 2 工 程 製 造	材料消費価格差異	本 社
工 場			

- a. 神奈川工業株式会社は、会計期末にあたり、材料消費価格差異勘定の残高を売上原価勘定に振り替えた。なお、材料消費価格差異勘定の前月繰越高は ¥7,000 (借方) であり、当月の素材の実際消費高は予定消費高より ¥6,000 少なく、この額は材料消費価格差異勘定に振り替えられている。
- b. 福島製作所は、発生がわずかであったため評価しないでおいた作業くずを ¥2,000 で売却し、代金は現金で受け取った。
- c. 等級別総合原価計算を採用している秋田製作所は、月末に工場の建物に対する減価償却費の月割額を消費高として計上した。ただし、1年分の減価償却高は ¥936,000 である。
- d. 組別総合原価計算を採用している青森工業株式会社における6月分の製品の販売に関する資料は、次のとおりであった。よって、売上高および売上原価を計上した。

	A 組	B 組
売 上 高 (掛 け)	¥420,000	¥750,000
売上製品製造原価	¥294,000	¥525,000

- e. 山形工業株式会社は、月末にあたり、工程別総合原価計算表を作成し、各工程の完成品原価を次のとおり計上した。ただし、当社では第1工程の完成品原価をすべて第2工程製造勘定に振り替えている。
- 第 1 工 程 ¥5,290,000 第 2 工 程 (最終工程) ¥6,410,000
- f. 工場会計が独立している千葉工業株式会社の工場は、本社から工場の従業員に対する健康保険料 ¥480,000 を支払ったとの通知を受けた。ただし、健康保険料 ¥480,000 のうち半額は事業主負担分であり、半額は従業員負担分である。なお、健康保険料預り金勘定は本社のみで設けてある。

(工場の仕訳)

- (3) 単純総合原価計算を採用している栃木製作所の次の資料から、完成品原価を求めなさい。
 ただし、i 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。
 ii 月末仕掛品原価の計算は平均法による。
 iii 正常減損は製造工程の終点で発生しており、正常減損費は完成品のみを負担させる。

資 料

① 生産データ 月初仕掛品 300kg (加工進捗度40%) 当月投入 4,250kg 合計 4,550kg 月末仕掛品 500kg (加工進捗度60%) 正常減損 50kg 完成品 <u>4,000kg</u>	② 月初仕掛品原価 素材費 ¥ 273,000 加工費 ¥ 102,000 ③ 当月製造費用 素材費 ¥ 3,822,000 加工費 ¥ 3,639,000
--	---

- (4) 標準原価計算を採用している宮城製作所の当月における下記の資料から、次の金額を求めなさい。
 a. 完成品の標準原価 b. 材料消費価格差異 c. 直接労務費差異

ただし、i 直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。
 ii 解答欄の () のなかに不利差異の場合は (不利)、有利差異の場合は (有利) と記入すること。

資 料

① 標準原価カード (一部)

M製品	標準原価カード		
	標準消費数量	標準単価	金額
直接材料費	4kg	¥ 650	¥2,600
	標準直接作業時間	標準賃率	
直接労務費	3時間	¥ 800	¥2,400
製品/個あたりの標準原価			<u>¥7,100</u>

② 生産データ

月初仕掛品	300個	(加工進捗度50%)
当月投入	<u>800個</u>	
合計	1,100個	
月末仕掛品	<u>200個</u>	(加工進捗度40%)
完成品	<u>900個</u>	

③ 実際直接材料費

実際消費数量	3,100kg
実際単価	¥640

④ 実際直接労務費

実際直接作業時間	2,600時間
実際賃率	¥750

- (5) 埼玉製作所は、A製品を1個あたり ¥4,500 で販売している。この製品を2,000個製造・販売したときの直接原価計算による損益計算書は下記のとおりである。よって、次の金額または数量を求めなさい。
 a. 販売数量が2倍になったときの営業利益 b. 損益分岐点の売上高
 c. 目標営業利益 ¥1,134,000 を達成するための販売数量

埼玉製作所		損益計算書	(単位:円)
I	売上高		9,000,000
II	変動売上原価		4,860,000
	変動製造マージン		4,140,000
III	変動販売費		900,000
	貢献利益		3,240,000
IV	固定費		
	1. 固定製造間接費	1,500,000	
	2. 固定販売費及び一般管理費	930,000	2,430,000
	営業利益		<u>810,000</u>

4

個別原価計算を採用している茨城製作所の下記の資料によって、次の各問いに答えなさい。

- (1) 6月30日①と⑦の取引の仕訳を示しなさい。
- (2) 消費賃金勘定・製造間接費勘定・第1製造部門費勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。なお、勘定記入は日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) A製品（製造指図書#1）とB製品（製造指図書#2）の原価計算表を作成しなさい。
ただし、i 前月繰越高は、次のとおりである。

素 材	300個	@¥1,640	¥ 492,000	
工場消耗品	450"	" " 80	¥ 36,000	
仕 掛 品（製造指図書#1）			¥2,727,000	（原価計算表に記入済み）

- ii 素材の消費高の計算は移動平均法、工場消耗品の消費数量の計算は棚卸計算法によっている。
- iii 賃金の消費高の計算には、作業時間/時間につき ¥1,180 の予定賃率を用いている。
- iv 製造間接費は部門別計算をおこない、直接作業時間を配賦基準として予定配賦している。

	第1製造部門	第2製造部門
年間製造間接費予定額（予算額）	¥7,176,000	¥4,332,000
年間予定直接作業時間（基準操業度）	13,800時間	11,400時間

取 引

6月 7日 素材および工場消耗品を次のとおり買い入れ、代金は掛けとした。

素 材	600個	@¥1,610	¥966,000	
工場消耗品	2,000"	" " 80	¥160,000	

12日 B製品（製造指図書#2）の注文を受け、素材750個を消費して製造を開始した。

23日 賃金を次のとおり小切手を振り出して支払った。

賃金総額	¥2,925,000			
うち、控除額	所得 税	¥234,000	健康保険料	¥117,000

30日 ① 工場消耗品の月末棚卸数量は350個であった。よって、消費高を計上した。（間接材料）

② 当月の賃金予定消費高を次の作業時間によって計上した。

製造指図書#1 1,200時間	製造指図書#2 1,050時間	間接作業 200時間
-----------------	-----------------	------------

③ 健康保険料の事業主負担分 ¥117,000 を計上した。

④ 当月の製造経費消費高を計上した。

電力料 ¥194,000	保 險 料 ¥58,000	
減価償却費 247,000	雑 費 12,000	

⑤ 当月の直接作業時間は次のとおりであった。よって、製造部門費を予定配賦した。

		第1製造部門	第2製造部門
直接作業時間	製造指図書#1	400時間	800時間
	製造指図書#2	850時間	200時間

⑥ 製造間接費を次のように各部門に配分した。

第1製造部門 ¥467,000	第2製造部門 ¥294,000	
動力部門 175,000	修繕部門 96,000	

⑦ 補助部門費を次の配賦基準によって、直接配賦法で各製造部門に配賦した。

	配賦基準	第1製造部門	第2製造部門
動力部門費	kW数×運転時間数	30kW×800時間	20kW×550時間
修繕部門費	修繕回数	6回	2回

⑧ A製品（製造指図書#1）50個が完成した。

⑨ 当月の賃金実際消費高 ¥2,940,000 を計上した。

⑩ 賃金の予定消費高と実際消費高との差額を、賃率差異勘定に振り替えた。

⑪ 第1製造部門費および第2製造部門費の配賦差異を、製造部門費配賦差異勘定に振り替えた。

第84回 簿記実務検定 1級 **原価計算** [答案用紙]

1

	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		

1	
得点	

2	
得点	

3	
得点	

4	
得点	

総得点	
-----	--

試 験 場 校	受 験 番 号

2

組別総合原価計算表
平成〇年6月分

摘 要		A 組	B 組
組 直 接 費	素 材 費		
	加 工 費		
組 間 接 費	加 工 費		
当 月 製 造 費 用			
月初仕掛品原価	素 材 費	589,000	468,000
	加 工 費	220,000	108,000
計			
月末仕掛品原価	素 材 費		380,000
	加 工 費	114,000	
完 成 品	原 価		
完 成 品	数 量	個	個
製 品	単 価	¥	¥

B 組 製 造

前 月 繰 越	576,000	() ()
素 材	3,800,000	次 月 繰 越 ()
労 務 費	879,000	
経 費	536,000	
() ()		
() ()		()

2	
得点	

3

(1)

ア	イ

(2)

a	直接労務費 円
b	製造間接費の予定配賦額 円
c	売上原価 円

(3)

完成品原価 円

(4)

a	完成品の標準原価 円
b	材料消費価格差異 円 ()
c	直接労務費差異 円 ()

(5)

a	販売数量が2倍になったときの営業利益 円
b	損益分岐点の売上高 円
c	目標営業利益円1,134,000を達成するための販売数量 個

3	
得点	

4

(1)

	借 方	貸 方
6月30日①		
30日⑦		

(2)

消 費 賃 金	
製 造 間 接 費	
第 / 製 造 部 門 費	

(3) 製造指図書 # /

原 価 計 算 表

直接材料費	直接労務費	製 造 間 接 費				集 計	
		部 門	時 間	配 賦 率	金 額	摘 要	金 額
2,132,000	413,000	第 1	350	520	182,000	直接材料費	
						直接労務費	
						製造間接費	
						製造原価	
						完成品数量	個
						製品単価	¥

製造指図書 # 2

原 価 計 算 表

直接材料費	直接労務費	製 造 間 接 費				集 計	
		部 門	時 間	配 賦 率	金 額	摘 要	金 額
						直接材料費	
						直接労務費	

4	
得点	

1

	借方	貸方
a	売上原価 1,000	材料消費価格差異 1,000
b	現金 2,000	雑益 2,000
c	製造 78,000	減価償却費 78,000
d	売掛金 1,170,000 売上原価 819,000	売上 1,170,000 A組製品 294,000 B組製品 525,000
e	第2工程製造品 6,410,000	第1工程製造 5,290,000 第2工程製造 6,410,000
f	健康保険料 240,000	本社 240,000

組別総合原価計算表
 平成〇年6月分

摘要	A組	B組
組直接費	5,700,000	3,800,000
加工費	1,995,000	1,415,000
組間接費	1,710,000	1,140,000
当月製造費用	9,405,000	6,355,000
月初仕掛品原価	589,000	468,000
加工費	220,000	108,000
計	10,214,000	6,931,000
月末仕掛品原価	300,000	380,000
加工費	114,000	125,000
完成品原価	9,800,000	6,426,000
完成品数量	4,000個	5,100個
製品単価	2,450	1,260

B組製造

前月繰越	576,000	(B組製品) (6,426,000)
素材	3,800,000	次月繰越 (505,000)
労務費	879,000	
経間接費	536,000	
(組間接費) (1,140,000)		
(6,931,000)		(6,931,000)

3

ア	イ
4	2

(1)

a	直接労務費	¥	1,100,000
b	製造間接費の予定配賦額	¥	620,000
c	売上原価	¥	2,968,000

(2)

完	成品原価	¥	7,128,000
---	------	---	-----------

(3)

a	完成品の標準原価	¥	6,390,000
b	材料消費価格差異	¥	31,000 (有利)
c	直接労務費差異	¥	42,000 (有利)

(4)

a	販売数量が2倍になったときの営業利益	¥	4,050,000
b	損益分岐点の売上高	¥	6,750,000
c	目標営業利益¥1,134,000を達成するための販売数量		2,200 個

(5)

4

(1)

	借	方	貸	方
6月30日①	製造間接費	168,000	工場消耗品	168,000
30日②	第1製造部門費	192,000	動力部門費	175,000
	第2製造部門費	79,000	修繕部門費	96,000

(2)

6/30 貸	金	2,940,000	6/30 諸	口	2,891,000
			〃 貸	率 差	49,000
		2,940,000			2,940,000

6/30 工場消耗品	168,000	6/30 諸	口	1,032,000
〃 消費賃金	236,000			
〃 健康保険料	117,000			
〃 諸	511,000			
	1,032,000			1,032,000

(3)

6/30 製造間接費	467,000	6/30 製造	650,000
〃 諸	192,000	〃 製造部門費配賦差異	9,000
	659,000		659,000

(3) 製造指図書# / 原価計算表

直接材料費	直接労務費	製造間接費		集要	
		部門	時間配賦率	金額	金額
2,132,000	4,130,000	第1	350	1,820,000	2,132,000
	1,416,000	第2	400	208,000	1,829,000
	1,829,000		800	304,000	694,000
				694,000	4,655,000
					50 個
					¥ 93,100

製造指図書#2 原価計算表

直接材料費	直接労務費	製造間接費		集要	
		部門	時間配賦率	金額	金額
1,215,000	1,239,000	第1	850	442,000	
		第2	200	76,000	